

大河原ロータリー

クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：和洋亭 ぶざん
 柴田郡大河原町字新南25-18
 TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫
 副会長：樽見 正仁
 幹事：佐藤 能文
 副幹事：丸山 勝利
 広報・ICO
 委員長：津田 政行
 副委員長：岩間 範男
 委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017~2018年度
 国際ロータリーのテーマ

**ロータリー：
 変化をもたらす**

**ROTARY:
 MAKING A
 DIFFERENCE**

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区
 2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

2017年8月10日(木) 第2426回例会

会長 あいさつ

会長 村上 則夫



先日は私の母村上和子の通夜、告別式に会員皆様よりご会葬いただきまして大変有難うございました、感謝申し上げます。

先ほど奥林様より話がありました通り、会員スピーチということで毎月お二人の方に「あなたにとってロータリーとは」ということでスピーチをしていただくことになっております。八島プログラム委員長より今日は欠席ということでご連絡がございました、甘糟会員においては 25 分から 30 分間、若干長くなりますが甘糟先生のロータリー感をお話ししていただけるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今週は梅雨も明けたということですが、毎日雨降りですけれども、本当に夏は今から来るのか、夏が終わってしまったのかということで、これも温暖化の影響かも知れませんが、ただ日本海の方の山形では結構天気も良くなっているようですが、太平洋の方はなかなか暑い夏が来ないということでもあります。

今週の土曜日は大河原の夏祭りということでロータリークラブでも協賛しておりますが、5,000 発の花火が上がるということです、本木商工会長はじめ櫻井副会長、商工会の理事の皆様、多数ロータリークラブにも所属しておられますので土曜日の大河原夏祭りの成功を心からお祈り申し上げます。

今日のテーマと致しましては前回の笠井ガバナーの方から、会員の増強についてはと一言で詳しく話がありましたが、私の方からは会員増強という事で、増強というのは増やすということ強くするという両方で増強ということです、会員を増やすことも大事なのですが今いる会員の皆様の質を上げると言ったら変なことですけれども、やはりロータリーの事に詳しくなってロータリーの知識を習得し最終的にはロータリー個人個人の会員に魅力を生まないと新しい会員というものは、ロータリーの魅力づくり、その魅力がだんだん出来てくれば黙っていても会員は増えていくのかなと思っています、無理やり増やすと今いる会員さんが止める様な状況が出てくることもあるので、その辺がとてもナイーブでただ増やすということではなくて増やすと同時に今いる現会員の質も上げていきたいと思いますということがとても大事なことでと私自信も考えております。RIの方としてもその増と強の両方とも強化していきたいと思いますということでございます。今年に関しましてはロータリー情報の立石委員長にも、是非昨年入会していただいた会員の皆様にもロータリーはどんな組織で、どの様な事をやるのかということで、先日の笠井ガバナーの話にもありましたように職業奉仕がまず一番ですよということがありました、そもそもロータリーはどのようにして始まったのかと言うと最初4名でそのロータリーを作る人たちが自分たちの仕事をよくするためにということで始まった、ですから先日私も話しましたが同じ職業の人は入れないということがあるのかなと思います、ロータリーで学んだことを会社に活かす、とても良い事だ

と思います、あの人の会社あのように良くなっているのはやはりロータリーの会員であるということもその一つではないかと云うふうになって、それならあの人が入っているロータリーだったら私も入ってロータリーの事を学んでそれを自分の会社に活かして行ける様にしたいなと思われることがとても大事な事だと思います。高橋尚敏親睦委員長がよくお話になります、一に親睦二に親睦三、四なくして五に親睦ですね、これは本当に大事なことです、やはり皆さん知識を上げて、勉強をしましょうとばかり言いますと皆さん嫌になってしまう、そこをどの様にしてバランスをとるのかとても難しくナイーブなところです、やはり私達は常に人間として向上していこうという向上心も大事だと思いますので、ロータリーの事をよく知って、理解して行動に移しましょうという事で、今 36 名の会員ですが、50 周年は来年の 3 月ですから、今から 7 か月しかありませんがその時 50 人中々難しいと思いますが、是非 1 人でもそれに近づける様に会員を増やして数多くの会員で 50 周年を迎える事が出来ればと思っています。

今度の夜間例会は「炭火焼大ちゃん」で移動例会が行われます、一応公開例会としておりますので是非皆さんのお友達でロータリーの事に興味があって、一寸行ってみたいなと言う方がいらしたら誘って頂いて、そこで入会を促す訳ではありませんが、ロータリーとはこの様な人たちが入って毎週この様な事をしているという事を知ってもらう例会にしたいと思います、案内は皆さんの所に既に連絡していますが是非同伴者を、先日のガバナーの話ではないですが会長が 4 人 5 人連れて来ないと先ず会長が示さないとの話でしたので私も一生懸命同伴者を連れて来れるよう今から頑張りますので、是非 24 日の例会には数多くの同伴者にお越し頂いて公開例会が出来る事をお祈りしまして、私の会長の挨拶と致します。

幹事報告

幹事 佐藤能文



皆様お疲れ様でございます。ご報告申し上げます。今週も忙しい所ご出席いただきまして有難う御座いました。

- 先週、パストガバナー笠井昭彦様よりご講演を頂きました、その御礼の葉書が届いております。
- 白石ロータリークラブから例会の変更のお知らせが届いております。
- 2017-18 年度のクラブ運営及び活動計画書に名簿を載せておりますけれども、自分の所の住所電話等に誤字脱字や変更点が有りましたらチェックしてください。
- 先週、例会が終わった後、安藤幹郎会員へ村上会長と一緒に会報を届けて来ました、元気でしたけれども、いろいろ通院とか車の事等で中々顔を出すことが出来ませんが、皆さんに宜しくとおっしゃっていただきましたのでご報告致します。今日は以上になります。

各委員会からの報告

米山 BOX の報告

委員長 藤江 裕佳里

高城 英 男 会員 今年度分です。

森 徹 会員 今月分です。

小田部晃二郎会員 今月分です。

スマイル BOX の報告

副委員長 森 徹

村上 則 夫 会長 先日、母村上和子の通夜、告别式では大変お世話様になりました。

甘糟 仁 会員 本日は久しぶりにスピーチさせていただきます。宜しくお願い致します。

武者 昌 洋 会員 ギックリ腰のため早退します。

櫻井 淳 一 会員 甘糟さん、八島さん、本日のスピーチよろしくお祈り致します。

佐藤 能 文 幹事 甘糟仁会員スピーチ宜しくお願いします。

藤江 裕佳里 会員 今日の会員スピーチ楽しみにしております。

小田部晃二郎会員 甘糟会員、八島会員スピーチありがとうございます。

森 徹 会員 甘糟先生、八島幸夫様スピーチありがとうございます。楽しみにしております。

出席の報告 出席委員長 櫻井俊寛

本日の出席の報告を致します。本日 10 日は 24 人で 66.67%でございます、来週は休会でございます。

会員スピーチ「貴方にとってロータリーとは」

甘 糟 仁 会 員



久しぶりに会長から「貴方にとってロータリーとは」宿題を頂き何かしゃべりなさいと言われてまして、今日は 15 分という事ですけれども、それぐらいの資料しか用意してこなかったのですが、今日電話がありまして八島会員が欠席という事で時間を少し伸ばしてくれという事ですけれども、中々尾ひれなど付け加えても伸ばすのは結構大変だと思っているのですけれども。

実は先々週虫垂炎になりまして、胃が痛くて熱が出たりしてそれで病院に来て採血したら白血球が 10,000 以上ありまして、そのうちまだ熱が出てきて、やっぱりこれは救急車で行った方が良いという事になり救急車で行きました、それでCTなど撮ってもらったら虫垂炎という事でした、今はCTで撮ると全部分かりますので、それで切るかどうかという事で、本当は切る予定でしたが一寸事情がありまして抗生物質で保存的に治す事になりまして、

3 日程何も食べないで 4 日目からご飯を食べられるようになりましたがその週は休んで、次の週からまた働いていますけれども、私も年齢 64 歳ですから、老居に入る年齢ですのでいろんな病気がこれから出て来るのかなと思っています。皆さんもご健康には気を付けて頂きたいと思います。

「私にとってロータリーとは」という事ですが、私は 2002 年に入会しまして、今年 2017 年ですから 15 年ぐらい経っているのですね、いつの間にかこんなに時間が経ってしまったという事です、私の父は未だ大河原ロータリークラブが出来ていない頃白石ロータリークラブに入っていて、一応会長などもやっていた、結構毎週欠かさず欠席しないで行っていた事を思い出します。それで私も子供の頃はロータリークラブの家族会とか、いろんな所に行った思い出がありまして、またいろんなゲームをしたり、家族で泊り掛けで行ったりして、その様な記憶がございます、またその頃交換留学生も来ていて、私も高校の頃に、佐藤屋さんの所にみんな集まっているから、お前も来いと親父から言われてまして、片言の英語でしゃべった記憶がありますけれども、そんな事で小さい頃からロータリークラブには馴染みが深かったのかなあとと思います。

大河原ロータリークラブに入ったのは森さんが会長の時です、15 年経っていますけれども、その前に伊藤孝治さんがいらっしやいまして、ロータリーに入らないかという事でした、私も平成 5 年に開業しまして 9 年ぐらい経っていましたので、それも良いかなという事で入らせて頂きました。最初 10 年位はただ出席していたという感じで余り何かやっていたという記憶は無いのですね、例会も毎回出席していた訳ではなくて、また創立総会とか地区大会にも出ていなかったのです、5 年前ぐらいからいろいろ役に付きまして、まずプログラム委員長という事で結構緊張しました、プログラム委員長ですからね、毎回スピーカーを呼ばなくてはならないという事で、それで年度が始まる前からいろいろ考えて人選したりしていました、その後社会奉仕委員長をやらされて生き生き交流プラザに庭を作ろうという事で樽見さんから石を貰いまして、結構高いお墓の要らなくなった石を貰ってそれにロータリークラブと書いて、また山家さんに庭を作って貰ったという記憶がございます。その次は副幹事をしまして副幹事は何もやる事がなくて幹事のやることを見ているという感じでしたけれども、次の年には幹事です幹事は非常に大変だという事で、会の運営をしなくてはならないという事で、幹事をやるとロータリーの運営が良く分かりますね、これでいろいろ勉強させて頂きましたけれども、年間スケジュールから全て把握して、予算とかまた地区大会とかガバナー訪問とかいろんな行事で、参加者など取り

仕切らなくてはならないので非常に大変でした、ただ会長と幹事はメインキャスターなので遣り甲斐、意義がありますね、若い方も幹事をやるとロータリーの事を本当に分かると思います。幹事と言うのは秘書ですから、例えば例会の食事の数とか事務の方と相談して、これぐらい出席するのじゃないとか、夜間例会或いはお正月はどれ位出席するのかなどと食事の数を考えた記憶がございます。また地区大会ではガバナーが菅原祐典さんでしたので結構派手な地区大会でした、後は国際ロータリー会長代理晩さん会などいろいろ出席しまして非常に楽しみましたロータリー冥利に尽きるという事でしたね、あとはマイロータリーに登録をしてwebサイトをかなり見ましたね、それでメールなどいっぱい来ますので、必要なものは事務の方に転送したり、その様な仕事をやりました。そういう事で幹事の時はロータリーの事がよく分かってきた様に感じました、その様な事で若い人はどんどん早めに幹事をして頂くといいのではないかと思います。

「私にとってロータリーとは」 どういう事かと言いますと、やはり社会との繋がりと考えております、社会との交流ですね、あと人脈ですね、まあ医者などはあまりその様な方と付き合う事はないので、患者さんとかにしか付き合わないのですね、そうすると非社会的になったりしますが、この様にいろんな事業の方が来ると本当に社会の縮図という事で非常に人脈も出来るし非常に有意義な事だと思っています。自分の付き合っている人を見ると、先ず同業者の医業関係あと医局関係とかあとは中学校の同窓生、高校の同窓会とかですね、大学の同窓会これは支部などもありまして私なんかは幹事とかやっていますけれどもね、こういう人たちあとは親戚とか、いとこはあまり付き合わないですね遠くにいますから、兄弟は付き合いますけれど、行政の方は時々医業の関係で付き合いさせて頂きますが、そんな感じの中で社会の中で皆さんとお知り合いになれているというのは自分の知らない世界の事、いろんな情報を得られますのですごく有意義で、他の事は自分の事しか分からないですから、人からいろんなことを学んだり、仕事のノウハウを学んだり非常に有意義な事だと思っています。人間と言うのは社会的な動物で一人で居るより皆で居た方が良いという事なので、いろいろ食べたり飲んだりお話を聞いたり一緒に奉仕活動をやったりね、そういう事が非常に楽しい事じゃないかと思っています。その様な事で仲間になれば凄く人生は豊かになると思います。大河原の社会で生きていく上では皆さんと知り合いになれるのは本当に先程から何回も言っていますけれども有意義な事だと思っています。またロータリーは世界的なクラブなので大河原に限らず仙南地区から宮城県、岩手県、東北、日本そして国際という事で広まっていますので、これは自分にとっても無形の財産になると思っています。国際ロータリーの大会で韓国ソウルに行きましたけれども、韓国の方がガイドで付いたので他の旅行者が行けないようなレストランとかそういう所に連れて行ってもらいましたしね、韓国の社会とはどういうものか分かったり、また国際ロータリー大会では気軽に世界の人達に話を掛けると気軽にヤーと言ってお話が出来るので、そういう意味では世界は一つだなと私も世界の人たちと一緒に交流出来るんだなと実感しましたね、国際ロータリーとは非常に良い行事です、皆様も時間が有ったら行って頂いたら良いのではないのでしょうか、皆さん行って頂いていますけれどもね、今年度村上会長もカナダに行く事になっているようですが、非常に良い事だと思っています。

あとは職業奉仕、やはり一番大事なのは村上会長が言ったように職業奉仕です自分の仕事を通じて社会奉仕をする、自分の仕事をしているだけではなくて自分の仕事を通じて何かプラスアルファの社会奉仕が出来れば良いなと思っています。私も四つのテストは非常に良い事だと思っています、この四つのテストとは職業奉仕をする時の心構えみたいな事が書いてあります、自分が社会で職業をやるにあたって、「真実か どうか」嘘はついていないか自分にとっても真実かどうか、「みんなに公平か」公平と言うのは大事ですね、恨みとか妬みとかがあると人間関係ギクシャクしますからね、公平にしておけば憎まれることもありませんし、スムーズに行くと、これも社会生活を送る上で一つの知恵ではないかと思っています、「好意と友情を深めるか」これも大事ですよね、深めて行かないとね、ただ浅い付き合いだけではそれほど得られるものも少ないと思いますのでね、十分友情とか好意を深めて行くのが良いと思いますね、そして「みんなのためになるか どうか」という事でやはりいつも自分の事だけ考えないで皆のためになるかどうかという事が考える何か崇高に思われますね、だからこういう精神は大事ですし、ロータリークラブはいっぱいあると思うのですが、この様な同じシステムで色んなことをやっているとならぬの共有関係が出てきますしね、すごくロータリークラブの絆が深まって行

くのじゃないかと思っています。こんなことで私 15 分ぐらい考えて来たのですが……。

<質問>佐藤能文幹事より：よくバンド活動をなされているのですが、バイオリン等は何時からやられているのでしょうか？

僕は、バイオリンは小学校 1 年の時に、大河原幼稚園でバイオリン教室をやっているという事で、何かしづしづ母親に連れられて行ったのですが、バイオリンを聞いたら自分でやると言い出したみたいで小学校 1 年から始めまして、それで途中から仙台の鈴木バイオリン教室に移りまして 4 年生の頃から中学 1 年までやりました、あとはクラブ活動とかいろいろやりまして少し離れたのですが大学に入ってまた管弦楽部に入りまして、公式庭球部などもやっていたのですが、それで管弦楽部もやりまして 4 年生の時は団長やりましてセカンドのパートリーダーをやっていました、それでベートーベンの 1 番、モーツワルトの 25 番とかねそういうものをやりましたね、あとは結婚式の時一寸家のかみさんと一緒にやったというのもありましたね、そのあとはあまりやっていなかったのですが、50 歳の時にまたバイオリンを買って老後の楽しみという事で、またチャカチャカやって、最近になってまた医師会のバンドとかに入る様になりまして、そこでまたやり初めまして、ロータリーでもやっているのですが、今後どの様になるか分からないですけども、そんな感じでやっております。これで、私の「貴方にとってロータリーとは」を終わります。